

青梅市梅の里再生計画

梅の里再生・復興プラン

平成31年度版

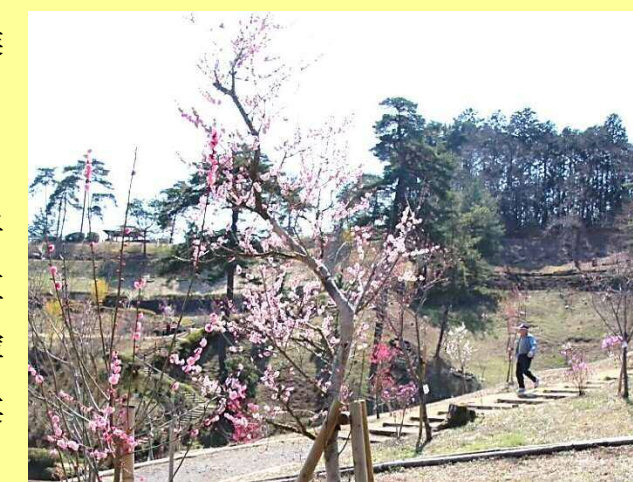
～ 咲かせよう! 僕らの夢と 梅の花 ～

青梅市公式キャラクター
「ゆめうめちゃん」

はじめに

このプランは、「青梅市梅の里再生計画」および「梅の里施設整備基本計画」を上位計画と位置づけ、計画に掲げた諸施策を着実に実施するため、平成32年度までに達成すべき目標および目標の達成のために取り組む重点事業を明確にするプランとして年度ごとに策定するものです。

今回の梅の里再生・復興プランは「平成31年度版」であり、昨年度に作成したプランを見直すとともに、今までの事業成果をより一層発揮させ、被害を受けた地域の再生・復興へと結実させていきます。



再植栽が進む「梅の公園」

プランの進行管理

プランの推進に当たっては、PPV対策の取組状況や計画事業の進捗状況を的確に捉えて、毎年度プランを策定し、梅の里再生・復興の効果的な推進を図ります。

また、重点化すべき事業の充実、新規事業の立案等に積極的に取り組み、プランに反映していきます。

プランに掲げる各施策の効果を客観的に評価できる指標として、分野ごとに到達目標を定めるとともに、平成32年度までに達成する目標値を設定します。

平成30年度の取り組み

(1) 農業分野

- 農地植栽用に管理された苗木約1,000本の苗木を育成
- 梅生産農家用として苗木を農地に植栽(41園地・344本)
- 早期成園化技術(ジョイント栽培)を導入した試験栽培圃場で補植(2園地・56本)
- 共同防除体制の継続

(2) 観光・商業分野

- 「吉野梅郷梅まつり」をはじめ各種集客イベントを開催
- 梅の公園(274本)中道梅園(5本)に植栽
- 国道411号の日向和田駅前の植樹ますに植栽(7本)
- 柚木・畑中・日向和田地区内の公園・児童遊園へ植栽(4園地・9本)
- 梅の公園に彼岸花22,500球を植栽
- オープンガーデンに植栽(7か所・22本)

(3) 共通分野

- 強化対策地区1の再植栽継続と強化対策地区2への再植栽を国に認められた
- 梅の公園に「梅の里再生プロジェクト」応援自動販売機を設置された
- 地方創生応援税制「企業版ふるさと納税」での寄付金(17社4,600千円)
- 市公式キャラクター「ゆめうめちゃん」を活用した各種グッズ
で梅の里再生事業をPR



アブラムシ防除作業



日向和田駅前に植栽



応援自動販売機

青梅市梅の里再生計画

梅の里再生・復興プラン(平成31年度版)

- 発行者/青梅市
- 発行日/平成31年3月
- 企画編集/青梅市経済スポーツ部梅の里再生担当
〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1
TEL: 0428-22-1111(代表)

達成すべき目標および平成31年度重点事業

(1) 農業分野

目標：ウメ生産の早期再開・回復

- 農地への梅樹再植栽を促進する
- 梅生産への支援体制の充実を図る
- 再植栽樹のウメの生産・出荷を目指す



農地へ再植栽される梅苗木（日高市）

指 標	単位	H28年度 現況	H29年度 現況	H30年度 現況	H31年度 目標	H32年度 到達目標
強化対策地区内における農地の再植栽樹数	本	2,003	805 累計 2,808	400(注) 累計 3,208	200 累計 3,408	累計 3,500
強化対策地区内における梅の収穫量	トン	0	0	0.25	4	8

(注) 早期成園化技術(ジョイント栽培)の再植栽 56 本を含む。

平成31年度 重点事業1 農地への植栽および農地再生への支援

- ・農地への植栽
- ・苗木の育成・管理および購入 [2, 753千円]
- ・援農ボランティア事業
- ・共同防除体制の継続実施

(2) 観光・商業分野

目標：多くの観光客が訪れる観梅名所の早期復活

- 梅の公園への再植栽を継続する
- 公園等施設の整備を推進する
- 集客イベントを充実し、周辺観光エリアとの連携強化を図る
- オープンガーデン（※2）への植栽を促進する

指 標	単位	H28年度 現況	H29年度 現況	H30年度 現況	H31年度 目標	H32年度 到達目標
梅の公園植栽樹数	本	600	339 累計 939	246(注) 累計 1,185	80 累計 1,265	1,200
梅の公園来園者数	人	7,441 (H26年度)	27,989	26,629	80,000	100,000

(注) H30年度の樹数は枯損による植替え 28 本を除く。

平成31年度 重点事業2 梅の公園等への植栽および施設整備

- ・梅の公園への植栽および施設整備 [96, 093千円]
- ・中道梅園施設整備 [1, 456千円]
- ・オープンガーデンへの植栽

平成31年度 重点事業3 観光客の誘致

- ・観光客増加につながるイベントの実施 [4, 119千円]
- ・周知宣伝活動の実施 [3, 237千円]



施設整備が進む「梅の公園」

(3) 共通分野

目標：ウイルスを根絶し、再植栽地区の拡大を図る

- 強化対策事業を実施する
- ウメ輪紋ウイルスの根絶を目指す
- 梅の里再生基金の充実を図る



梅の公園に設置された「寄付者芳名板」

平成31年度 重点事業4 ウメ輪紋ウイルス防除対策の実施

- ・強化対策の実施（再植栽樹を含む） [55, 736千円]
- ・市民への防除対策周知および協力依頼 [413千円]

指 標	単位	H28年度 現況	H29年度 現況	H30年度 現況	H31年度 目標	H32年度 到達目標
再植栽可能地区数	地区	3	4	8	8	8
梅の里再生基金積立総額	千円	67,330 (H27年度)	99,292	121,000 (見込み)	144,000	150,000

平成31年度 重点事業5 梅の里再生資金の確保

- ・梅の里再生周知啓発活動の実施 [108千円]
- ・ふるさと納税と寄付金の活用

※1 ジョイント栽培：樹と樹をつなげることで果実の早期・安定生産および低樹化による低労化を同時に図る栽培技術
[] の金額は、平成31年度当初予算額です

※2 オープンガーデン：民家の庭などに植栽してある梅の木を一般に開放している場所